



しかま りょういち
鹿釜 良一

御船中学校
ものづくり部顧問

御船中学校は今年で6年目。ロボットコンテストでは、平成26年～29年4連続で全国大会へ導く。木工部門では、昨年度全国大会へ初出場し、全国制覇を果たす。

いわもと まさき
岩本 真輝

御船中学校3年
ものづくり部

昨年度は初出場ながら、木工部門で日本一となる。その作品のアイデアと精度の高さに多く評価を得た。岩本くんのこの笑顔には、たくさんの可能性が秘められている。

2連覇達成！ 木工部門で 全国大会を制する

全国の舞台で
地方大会から勝ち上がり、全国で

1月26日、第19回全国中学生創造ものづくり教育フェアの木工チャレンジコンテストに出場した、御船中学校（井上幸三校長・365人）ものづくり部の岩本真輝さん（3年）が文部科学大臣賞を受賞、2年連続日本一という快挙を成し遂げました。

先生の存在

作品のアイデアは、御船中学校ものづくり部顧問の鹿釜良一先生と一緒に考えたもの。空いている時間があれば、二人で試行錯誤しながら、二人三脚で歩んできた。「（岩本くんは）誰もがきついと感じる単調な作業の繰り返しを楽しんで行うことができる」と話す鹿釜先生。岩本くんは「何事もする前に、礼儀作法など、人として当たり前のことを大切にしたい」という鹿釜先生の言葉を大事にし、作品をつくっている。その言葉がものづくりに対して活かされ、ものづくり部全体が明るくなっ

ものづくりで幸せに

岩本くんにとって、ものづくりとは、「自分で楽しんでつくり、それを使ってもらう人にも楽しんでもらうこと」と話す。将来、ものづくりに携わりたいと思いは変わらない。ものづくりを活かして自分を磨き、たくさんの人を幸せにしたいと考える岩本くんの挑戦は続く。



藤木町長（左から2番）に報告した岩本さん（中央）



はたち日和

御船街なかギャラリーで

決意を新たに新成人を祝福

ギャラリーの和の空間を堪能しました

1月13日、御船しあわせ日和実行委員会ははたち日和運営部（緒方明子部長）が新成人のために、御船街なかギャラリーを会場としたイベント「はたち日和」を開催しました。このイベントは、昨年に引き続き、クラウドファンディング（資金援助システム）を利用。「御船町の文化遺産を知り、この町でたくさんの愛に包まれ、生まれ育ったことを誇りに社会に出てほしい」という思いから開催されました。ギャラリーでは、白壁蔵に人力車、和傘やバルーンアートなど和のスポットが盛りだくさん。外では、唐揚げやクレープなどのキッチンカーが多数出店されました。訪れた新成人たちは、ギャラリーの落ち着いた空間と応援してくれる地域の人たちの温かい気持ちに触れ、「はたち日和」を満喫しました。

